

米軍・軍属が福知山で実弾射撃訓練実施 地元で中止を求め抗議行動



十一月二十九日、陸上自衛隊福知山駐屯地射撃場での米軍と軍属（福知山・山内さん提供）

青森車力基地の軍属が日本人女性に暴行
29日三沢基地で発生したもので、軍属は憲兵に捕まりました。

十一月二十九日、米軍経ヶ岬通信所の米兵と軍属が自衛隊福知山駐屯地射撃場で、実弾射撃訓練を行いました。地元では、緊急に抗議行動を実施。米軍車両に向けて横断幕を広げ抗議しました。

新聞報道によると、約三十人が参加。午前九時半から午後三時半まで実弾射撃を行いました。

「訓練は騒音調査や安全確認を兼ねて実施した」とし、防衛省近畿中部防衛局と京都府、福知山市の職員が立ち会ったとしています。

防衛省11月25日に日米合同委員会での承認を公表 承認したのは11月8日だった

福知山自衛隊駐屯地の射撃場を日米共同使用とすることについて、防衛省は11月25日に日米合同委員会での承認を公表しました。ところが、この承認の日付は11月8日でした。この日は、京都府知事と福知山市長が稲田防衛大臣に面談し要請した翌日でした。防衛省（近畿中部防衛局長名）が府などに回答した日でもあり、京都府などは、すでに承認されていたことを知らなかったと見られます。京都府がこの回答をふまえて文書を再度防衛省に出し、知事コメントで「誠実に対応するとの回答を得た」として、事実上の了承をしたのは14日。防衛省のやり方はひどいものです。これでほんとに、府や市や要請したことが守られるのか？今回の射撃は騒音調査も兼ねたと報道されていますが、騒音が大きく変わるはずはありません。引き続き、撤回・中止を求めていきましょう。

府民の会学習会へのご参加をよびかけます

北朝鮮や中国の動きを背景に、安倍内閣による軍拡と、自衛隊と米軍の一体化で問題の解決ははかれるのか？ミサイル防衛に巨額のお金をこれからも投入しますが、これで国民を守れるか？北東アジアの平和をどのように構築していくのかという根本問題とミサイル防衛の現実を学びます。

経ヶ岬米軍基地の最近の動向、Xバンドレーダーの機能アップなど、最新情報も明らかにします。

とき 12月5日(月)午後6時30分～

ところ ラポール京都第8会議室

内容 北東アジアの平和構築とミサイル防衛
講演「北東アジアの平和構築のために何が
必要か」（仮題）

講師 川田忠明さん（日本平和委員会常任理事、
日本共産党国民運動委員会
平和運動局長）

報告 「京都の米軍基地とミサイル防衛」
片岡 明さん（府民の会事務局長）

発行：米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会（略称）米軍基地いらない京都府民の会
連絡先：京都市中京区壬生仙念町30-2ラポール京都5階
京都総評内 京都憲法共同センター気付
☎075-801-2308 fax075-812-4149
過去のニュースは、URL: <http://www.labor.or.jp/sohyo/xband-home.html> で見ることができます。